

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 S 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
							総事業費	進捗率	事業進捗内容			
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
道路事業	8	一般国道368号(仁柿峠バイパス)	松阪市	③	<p>【全体事業概要】</p> <p>延長 L=3,920m</p> <p>幅員 W=5.5(7.0)m</p> <p>主要構造物 トンネル 1本</p> <p>橋梁 7橋</p> <p>【事業目的】</p> <p>事前交通規制を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、緊急輸送道路としての機能強化を図ります。</p>	H2	9,000	49%	<p>整備済延長 L=1,760m</p> <p>うち供用済延長 L=380m</p> <p>主要構造物 (整備済) 橋梁 3橋</p>	<p>当該路線は、伊賀地域と中勢地域を最短で結ぶ道路であり、緊急輸送道路の指定を受けていることなどから、当該事業の必要性に変化はありません。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>B/C=1.3</p> <p>【コスト削減】</p> <p>橋梁整備において、耐候性鋼材の使用による維持管理コスト削減を図っています。また、切土法面の法尻部分にコンクリート吹付を施工し、除草に要する維持管理コストの削減を図っています。</p> <p>【代替案の検討】</p> <p>事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。</p>	<p>平成32年度の全線供用に向け事業を推進します。</p>
						S	8,650	48%				
						H32	350	74%				

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 S 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
							総事業費	進捗率	事業進捗内容			
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
道路事業	9	一般国道422号三田坂バイパス	伊賀市	③	<p>【全体事業概要】 延長 L=5,100m 幅員 W=6.0(7.5)m</p> <p>主要構造物 トンネル 1本 橋梁 8橋</p> <p>【事業目的】 事前通行規制を解消し、安全で円滑な交通の確保を図ります。</p>	H 8 S H 2 9	10,900	34%	<p>整備済延長 L=1,780m うち供用済延長 L=1,660m</p> <p>主要構造物 (整備済) 橋梁 3橋 (整備中) 橋梁 2橋</p>	<p>当該路線は、伊賀市諏訪・丸柱地区から中学校や医療機関など生活関連施設のある伊賀市街地までを結ぶ路線であり、同地区の住民にとっては生活に欠かすことのできない重要な道路であることから、当該事業の必要性に変化はありません。 また、平成20年2月23日に新名神高速道路の亀山ジャンクションから草津ジャンクションの区間50kmが、開通しました。 これに伴い当該路線は、伊賀市街地から新名神高速道路の信楽インターへ接続する道路としての役割を担います。</p>	<p>【費用対効果分析】 B/C=1.2</p> <p>【コスト削減】 鋼製橋梁上部工に耐候性鋼材を使用し、切土法面の法尻部分にコンクリートブロック張を施工することで、維持管理コストの削減を図っています。</p> <p>【代替案の検討】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。</p>	平成29年度の全線供用に向けて、事業を推進します。
							10,202	29%				
							698	99%				

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 S 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
							総事業費	進捗率	事業進捗内容			
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
道路事業	10	一般国道422号 八知山拡幅	大台町	③	<p>【全体事業概要】</p> <p>延長 L=850m 幅員 W=5.5(7.0)m 主要構造物 トンネル 1本 橋梁 1橋</p> <p>【事業目的】</p> <p>通行止区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、代替性をもった道路網の構築を図ります。</p>	H7	2010	37%	<p>整備済延長 L=400m うち供用済延長 L=260m</p> <p>当該路線は、大台町役場宮川総合支所、宮川小中学校、警察・消防、スーパーなどの生活関連施設や医療機関を結ぶ道路であり、同地区の住民にとっては、生活に欠かすことのできない重要な道路であることから、当該事業の必要性に変化はありません。 また、平成18年3月に近畿自動車道紀勢線の勢和多気JCT～大宮大台IC間が開通しました。これにより、キャンプ場や大杉谷溪谷の登山道等、大杉地区の自然豊かな観光資源へのアクセス性が向上し、大台町への観光客の増加が期待されています。当該道路の整備により、これらの観光地への利便性が一層向上することとなり、観光産業の支援に繋がるものと期待されています。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>B/C=1.1</p> <p>【コスト削減】</p> <p>トンネル照明において、最新の照明器具の導入を検討し、建設コスト・維持管理コストの削減に努めます。</p> <p>【代替案の検討】</p> <p>事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。</p>	平成25年度の全線供用に向け事業を推進します。	
						H25	66	97%				

平成22年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						総事業費						
						当初	当初					
街路事業	504	都市計画道路環状1号線(垂坂工区)	四日市市垂坂地先	【全体事業内容】 延長 L=1.08km 幅員 W=6.0(16.0)m	H7	H15	2,028	<ul style="list-style-type: none"> ■ 費用便益比 ・B/C=3.6 ■ その他の効果 ・日常生活の利便性が向上。 ・旧道では、大型車交通量の減少によりすれ違いがし易く、安全になった。 ・歩道の設置により、通学路として児童の安全を確保。 ・周辺地域の人口は増加傾向にあり、地価は周辺に比べ下落率は小さい。 	植樹により道路と周辺環境との調和に配慮し、また、舗装にリサイクル材を使用し、建設資材のリサイクル推進に努めました。	周辺の道路では慢性的な交通渋滞が発生し、それを解消するために様々な事業が展開されています。 当該区間の延伸部にあたる四日市市事業の環状1号線は、平成23年1月供用開始に向け工事を進めている。 近鉄川原町駅付近の連続立体交差事業は、鉄道の高架化により、踏切による交通渋滞を解消します。 国道1号北勢バイパスは、国道1号と国道23号に集中する交通量を分散し、慢性的な渋滞を解消します。現在、垂坂町まで部分供用されています。	地域の住民の方に当該路線に関する意見を得るためにアンケートを実施し789名の方から回答を得ました。 総合的な評価としては「非常に満足」、「やや満足」合わせて約65%が満足との回答をいただきました。	街路事業は、市民生活や経済活動等に伴う交通の円滑化を図るのみでなく、沿道の市街地化を誘導する機能を併せ持つなど、重要な役割を担っているため、計画的な整備を推進していきたいと考えています。
				H16		2,073	【事業目的】 都市内交通の円滑化を図り、地域の利便性の向上や交通の安全性を確保します。					

平成22年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						総事業費						
						当初	当初					
道路事業	507	一般国道260号(下津浦拡幅)	南伊勢町 木谷、神津佐	【全体事業概要】 延長 L=2,310m 幅員 W=6.0(10.0)m 主要構造物 トンネル 1本 橋梁 3橋	S63			安全で円滑な交通を確保するとともに、住民の安心な暮らしの確保や地場産業の振興に寄与しています。	伊勢志摩国立公園第3種特別地域内であるため、環境省と協議し、積極的に切土法面の緑化を図っています。	当該路線は熊野灘沿いの地域を連絡する唯一の幹線道路であり、緊急輸送道路の指定も受けていることなどから、当該道路の重要性に大きな変化はありません。 また、平成17年に旧南伊勢町の中学校が南勢中学校1校に統廃合され、遠隔地の生徒はスクールバス通学となりました。スクールバスの経路として国道260号の重要性が増しています。	当該事業に対する近隣住民等の利用状況や意見を得るため、アンケートを実施し、1,486名から回答を頂いています。整備に対する評価としては、「非常に満足」、「やや満足」を合わせて76%が満足との回答を得ています。	国道260号としては、木谷地区に未整備区間が残っていることから安全で円滑な通行の支障となっています。既に木谷地区の事業に着手していますが、事業の実施にあたっては、段階的な供用も含め、早期効果の発現に努めていきます。
				H17		5,763						
				【事業目的】 安全で円滑な交通の確保を図るとともに、緊急輸送道路としての機能強化を図ります。		H17	6,083					